

2008 年

*当時の大学院生の筆頭業績は◎にしてあります。

英文原著

1. Azuma S, **Kohzuki M**, Saeki S, Tajima M, Igarashi K, Sugawara J. Beneficial effects of orthodontic treatment on quality of life in patients with malocclusion. *Tohoku J Exp Med* 214: 39-50, 2008
2. Yoshioka K, Wakino S, Homma K, Kanda T, Tatematsu S, Hasegawa K, Sugano N, **Ito O**, Omata K, Saruta T, Hayashi K. Renal Cytochrome P450 as a determinant of impaired natriuresis by PPAR- γ ligands in ovariectomized obese Zucker rats. *Obesity* 16: 965-971, 2008
3. Nakayama T, Hirose T, Totsune K, **Mori N**, Maruyama Y, Maejima T, Minagawa K, Morimoto R, Asayama K, Kikuya M, Ohkubo T, Hashimoto J, **Kohzuki M**, Takahashi K, Imai Y; Increased gene expression of urotensin II-related peptide in the hearts of rats with congestive heart failure. *Peptides* 29: 801-8, 2008
4. Hirose T, Totsune K, **Mori N**, Morimoto R, Hashimoto M, Nakashige Y, Metoki H, Asayama K, Kikuya M, Ohkubo T, Hashimoto J, Sasano H, **Kohzuki M**, Takahashi K, Imai Y; Increased expression of adrenomedullin 2/intermedin in rat hearts with congestive heart failure. *Eur J Heart Fail* 10: 840-9, 2008
5. **Chida K**, Nagasaka T, **Kohzuki M**, Saito H, Mori I, Muruoka S, Takahashi S, Yamada S, Zuguchi M. Feasibility of cardiac MR examination during quantitative isometric muscular exercise. *Acta Cardiol* 63: 547-552, 2008
6. ◎**Tufescu A**, **Kanazawa M**, **Ishida A**, **Lu H**, **Sasaki Y**, Ootaka T, Sato T, **Kohzuki M**. Combination of exercise and losartan enhances renoprotective and peripheral effects in spontaneously type 2 diabetes mellitus rats with nephropathy. *J Hypertens* 26: 312-321, 2008
7. ◎**Guo Q**, **Minami N**, **Mori N**, **Nagasaka M**, **Ito O**, **Kurosawa H**, **Kanazawa M**, **Kohzuki M**. Effects of antihypertensive drugs and exercise training on insulin sensitivity in spontaneously hypertensive rats. *Hypertens Res* 31: 525-533, 2008

和文原著

1. 後藤葉一, 齋藤宗靖, 岩坂壽二, 代田浩之, 上月正博, 上嶋健治, 牧田 茂, 安達 仁, 横井宏佳, 大宮一人, 三河内弘, 横山広行, 循環器病研究委託費(15-指2)研究班. わが国における心臓リハビリテーションの実態調査と普及促進に関する研究. *心臓リハビリテーション* 13: 49-52, 2008
2. 井上博雅, 相澤久道, 石坂彰敏, 一ノ瀬正和, 植木 純, 大田 健, 大森久光,

- 小川浩正, 金澤 實, 川山智隆, 黒澤 一, 小林弘祐, 榊原博樹, 玉置 淳, 陳和夫, 梅 博久, 南須原康行, 飛田 渉, 藤本圭作, 南方良章. 生活習慣病対策における COPD の重要性—「特定健康診査・特定保健指導」への提言—. 日本呼吸器学会雑誌 46: 583-591, 2008
3. 洞口博子, 門脇良光, 佐藤康子, 佐々木悦子, 三井栄子, 長谷川洋子, 太田美智, 星 慈, 佐藤洋美, 長田佳子, 色川俊也, 小川浩正, 黒澤 一, 飛田 渉. 東北大学学生の喫煙動向とキャンパスの喫煙対策の現状. 東北大学高等教育開発推進センター紀要 3: 313-318, 2008
 4. 石塚恒夫, 小川 晋, 森 建文, 奈古一宏, 伊藤貞嘉, 伊藤 修, Schwartzman ML. ヒト培養血管内皮細胞において、CYP4A 依存性アラキドン酸代謝物 20-HETE が NF- κ B 活性および炎症性サイトカイン産生を増大する. Therapeutic Research 29: 1875-1876, 2008
 5. ◎今西里佳, 中川晴夫, 松本香好美, 淡路静佳, 鍋倉 実, 丹野 修, 荒井陽一, 上月正博. 過活動膀胱を有する女性要介護高齢者に対する仙骨表面治療的電気刺激の治療効果. 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌 24: 13-17, 2008
 6. ◎伊藤大亮, 伊藤 修, 曹 鵬宇, 室谷嘉一, 高島健太, 金澤雅之, 上月正博. 高血圧自然発症ラットの腎 NO 合成酵素と Akt リン酸化への atorvastatin の効果. Therapeutic Research 29: 1877-1878, 2008
 7. 河村孝幸, 石田篤子, 藤田和樹, 鈴木玲子, 齋藤昌宏, 今西里佳, 松本香好美, 上月正博. 介護予防運動教室参加者の腹腔内脂肪および血中アディポネクチンの推移. 体力科学 57: 365-375, 2008
 8. 河村孝幸, 石田篤子, 金澤雅之, 森 信芳, 伊藤 修, 長坂 誠, 上月正博. JHC メディックスクラブを語る、全国への普及活動を如何に展開するか? 【MedEx Club 仙台支部】. 心臓リハビリテーション 13: 259-262, 2008
 9. ◎石田篤子, 河村孝幸, 金澤雅之, 森 信芳, 南 尚義, 伊藤 修, 上月正博. 自己健康管理の定着化を目指したメディックスクラブ仙台での維持期心臓リハビリテーションの試み. 心臓リハビリテーション 13: 165-168, 2008

和文単行本

1. 上月正博. 内科的リスク管理. 運動器リハビリテーション実践マニュアル (日本整形外科学会、日本運動器リハビリテーション学会監修). 全日本病院出版会: 86-97, 2008
2. 上月正博. フィットネス. 運動器リハビリテーションクルズス (岩谷 力, 黒澤尚, 江藤文夫, 赤居正美, 星野雄一, 飛松好子編集). 南江堂: 80-81, 2008
3. 上月正博. リスク管理 (内科的). 運動器リハビリテーション実践マニュアル (岩谷 力編). 全日本病院出版会: 86-97, 2008

4. 上月正博. 心臓リハビリテーションは採算が合うのか？ 今日の現場で役立つ Tips (Japan Heart Club 編). 中山書店: 37-39, 2008
5. 上月正博. 心臓機能障害: ペースメーカーや植え込み型除細動器装着の日常生活の注意点. 高齢者・障害者のための福祉用具活用の事務 (福祉用具活用研究会編著). 第一法規出版: 4067-4069, 2008
6. 上月正博. 視覚障害&内部障害: 糖尿病性網膜症で視覚障害がある場合. 高齢者・障害者のための福祉用具活用の事務 (福祉用具活用研究会編著). 第一法規出版: 4070-4071, 2008
7. 上月正博. 視覚障害&内部障害: 糖尿病性網膜症で視覚障害がある場合のインスリン注者. 高齢者・障害者のための福祉用具活用の事務 (福祉用具活用研究会編著). 第一法規出版: 4072-4073, 2008
8. 上月正博. 肢体不自由障害&内部障害: 脳卒中片麻痺で糖尿病がある場合のインスリン自己注射. 高齢者・障害者のための福祉用具活用の事務 (福祉用具活用研究会編著). 第一法規出版: 4074-4075, 2008
9. 金澤雅之, 上月正博. 基礎疾患をもつ患者. 運動器リハビリテーションクルズス (岩谷 力, 黒澤 尚, 江藤文夫, 赤居正美, 星野雄一, 飛松好子編集). 南江堂: 242-245, 2008
10. 黒澤 一, 上月正博. 呼吸器系: 運動と呼吸. 運動器リハビリテーションクルズス (岩谷 力, 黒澤 尚, 江藤文夫, 赤居正美, 星野雄一, 飛松好子編集). 南江堂: 33-36, 2008
11. 黒澤 一. 教育指導 (ADL・禁煙) と心理面のサポート. 動画でわかる呼吸リハビリテーション第2版 (高橋仁美, 宮川哲夫, 塩谷隆信編集). 中山書店: 211-222, 2008
12. 黒澤 一, 安藤守秀. 呼吸リハビリテーション. 第13回3学会合同呼吸療法士認定講習会テキスト「Respiratory Therapy」. 3学会合同呼吸療法士認定委員会: 161-179, 2008
13. 黒澤 一. 精密肺機能検査. 呼吸器 common disease の診療 COPD のすべて (工藤翔二, 編集: 永井厚志, 一ノ瀬正和監修). 文光堂: 124-129, 2008
14. 黒澤 一. 包括的呼吸リハビリテーション. 呼吸器 common disease の診療 COPD のすべて (工藤翔二, 編集: 永井厚志, 一ノ瀬正和監修). 文光堂: 220-224, 2008
15. 黒澤 一. 内部障害 呼吸器疾患. 最新整形外科学大系 (越智隆弘編集; 糸満盛憲, 越智光夫, 高岸憲二, 戸山芳昭, 中村利孝, 三浪明男, 吉川秀樹総編集) 4リハビリテーション (里宇明元専門編集) を担当. 中山書店: 504-508, 2008
16. 黒澤 一. 呼吸リハビリテーション. 看護学学習辞典 (第3版) (大橋優美子, 吉野肇一, 相川直樹, 菅原スミ監修). 学習研究社: 1012-1015, 2008

17. 黒澤 一. Q11. フローボリューム曲線は何を表しているのですか?. 呼吸療法マスターのための呼吸機能検査 Q&A 50 (赤柴恒人編著). メディカ出版: 22-23, 2008
18. 黒澤 一. Q12. フローボリューム曲線を見るときはどこに注目すればよいですか?. 呼吸療法マスターのための呼吸機能検査 Q&A 50 (赤柴恒人編著). メディカ出版: 24-25, 2008
19. 黒澤 一. Q13. 肺拡散能 (DL) とは何を意味しているのですか?. 呼吸療法マスターのための呼吸機能検査 Q&A 50 (赤柴恒人編著). メディカ出版: 26-27, 2008
20. 黒澤 一. Q14. 肺の換気力学 (メカニクス) とは何を表しているのですか?. 呼吸療法マスターのための呼吸機能検査 Q&A 50 (赤柴恒人編著). メディカ出版: 28-29, 2008
21. 黒澤 一. Q15. 呼吸時に抵抗が生じる仕組みを教えてください. 呼吸療法マスターのための呼吸機能検査 Q&A 50 (赤柴恒人編著). メディカ出版: 30-31, 2008
22. 黒澤 一. Q16. 肺のコンプライアンスとは何を意味しているのですか?. 呼吸療法マスターのための呼吸機能検査 Q&A 50 (赤柴恒人編著). メディカ出版: 32-33, 2008
23. 黒澤 一. Q17. 気道の過敏性とは何ですか? 可逆性とどう違うのですか?. 呼吸療法マスターのための呼吸機能検査 Q&A 50 (赤柴恒人編著). メディカ出版: 34-35, 2008
24. 黒澤 一. Q18. 運動負荷試験はどのような患者さんに適用されるのですか? またどんな方法がありますか?. 呼吸療法マスターのための呼吸機能検査 Q&A 50 (赤柴恒人編著). メディカ出版: 36-37, 2008
25. 黒澤 一. Q19. 動脈血液ガス分析の値からは何が分かるのですか?. 呼吸療法マスターのための呼吸機能検査 Q&A 50 (赤柴恒人編著). メディカ出版: 38-39, 2008
26. 黒澤 一. Q20. パルスオキシメーターの有用性について教えてください. 呼吸療法マスターのための呼吸機能検査 Q&A 50 (赤柴恒人編著). メディカ出版: 40-41, 2008
27. 黒澤 一. 呼吸筋のコンディショニング. Annual Review 呼吸器 2008 (工藤翔二, 土屋了介, 金沢 実, 太田 健編集). 中外医学社: 233-240, 2008
28. 黒澤 一. 呼吸理学療法 (付: 吸入療法). 今日の治療指針 2008 年版 (山口 徹, 北原光夫, 福井次矢総編集). 医学書院: 200-201, 2008
29. 伊藤 修, 上月正博. 代謝系: 糖代謝、脂質代謝、運動と代謝. 運動器リハビリテーションシナククルズ (岩谷 力, 黒澤 尚, 江藤文夫, 赤居正美, 星野雄一, 飛松好子編集). 南江堂: 43-46, 2008
30. ◎熊谷英子. 関節拘縮のある患者のスキンケア. ナーシング・プロフェッショナルシリーズ スキントラブルの予防とケア ハイリスクケースへのアプローチ (松原康美編). 医歯薬出版: 73-86, 2008

31. 南 尚義, 室谷嘉一, 上月正博. 廃用症候群. 運動器リハビリテーションクルズ (岩谷 力, 黒澤 尚, 江藤文夫, 赤居正美, 星野雄一, 飛松好子編集). 南江堂: 139-142, 2008

和文総説

1. 上月正博. 呼吸・循環障害にみられる障害とリハビリテーション. Journal of Clinical Rehabilitation 別冊「呼吸・循環障害のリハビリテーション」: 6-17, 2008
2. 上月正博. 呼吸リハビリテーションの定義とエビデンス. Journal of Clinical Rehabilitation 別冊「呼吸・循環障害のリハビリテーション」: 52-58, 2008
3. 上月正博. ペースメーカー, ICD 植え込み患者の運動療法の注意点. Journal of Clinical Rehabilitation 別冊「呼吸・循環障害のリハビリテーション」: 241, 2008
4. 上月正博. 透析患者の栄養治療としてのリハビリテーション・運動療法. 栄養評価と治療 25: 361-366, 2008
5. 上月正博. 慢性閉塞性肺疾患 (COPD). Pharma Medica 26: 37-40, 2008
6. 上月正博. 心臓・腎臓・呼吸 内部障害者の実態とリハビリテーションエビデンス. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 45: 157-163, 2008
7. 上月正博. わが国において心臓リハビリテーションはどの程度普及しているか? Heart View 12: 490-495, 2008
8. 上月正博. 臓器移植とリハビリテーションをめぐる最新の動向 リハビリテーション医療従事者として知っておくべきこと. Journal of Clinical Rehabilitation 17: 41-48, 2008
9. 上月正博. 新年によせて. 白鳥会会誌 190: 9-10, 2008
10. 上月正博. 東北白鳥会総会によせて. 白鳥会会誌 193: 9-10, 2008
11. 金澤雅之: 腎不全患者に対するリハビリテーションの実際と効果. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 45: 169-172, 2008
12. 金澤雅之, 上月正博, 槇 昭弘, 佐藤光博, 田熊淑男. 透析患者のリハビリテーションの現況と課題 保存期からの腎リハビリテーションとその生理学的意義. 日本透析医学会雑誌 41: 40-42, 2008
13. 金澤雅之. 心筋梗塞 (回復期). Journal of Clinical Rehabilitation 別冊「呼吸・循環障害のリハビリテーション」: 263-270, 2008
14. 金澤雅之. 透析患者さんのための腎臓リハビリテーション運動療法のすすめ—運動療法ネットワークの構築と全国スポーツ大会への参加をめざして—. 宮城県腎臓協会会報 19: 11-15, 2008
15. 金澤雅之. 腎不全モデルを用いた長期的運動による腎保護効果の検討, 実験動物を用いた循環器病研究の進歩. アニテックス 20: 29-33, 2008

16. 黒澤 一. 呼吸器疾患における栄養の意義を探る～「呼吸と栄養」研究会発足にあたって～. 呼吸と栄養 1: 1-4, 2008
17. 黒澤 一. 呼吸不全. 呼吸 27: 990-994, 2008
18. 田畑雅央, 木村啓二, 佐藤京子, 黒澤 一. NPPV による人工呼吸療法. 内科 101: 314-319, 2008
19. 黒澤 一. 筋力低下. COPD Frontier 7: 62-66, 2008
20. 伊藤 修. 腎不全と心臓機能障害. Journal of Clinical Rehabilitation 別冊「呼吸・循環障害のリハビリテーション」: 310-314, 2008
21. ◎長坂 誠. 呼吸・循環障害に対する電気刺激法. Journal of Clinical Rehabilitation 別冊「呼吸・循環障害のリハビリテーション」: 24-25, 2008
22. ◎森 信芳, 上月正博. 肺移植とリハビリテーション. Journal of Clinical Rehabilitation 別冊「呼吸・循環障害のリハビリテーション」: 102-103, 2008
23. ◎大石淳一, 上月正博. 酸素療法. Journal of Clinical Rehabilitation 別冊「呼吸・循環障害のリハビリテーション」: 90-95, 2008
24. ◎須田千尋, 上月正博. 臨床所見・徴候からのアプローチ ADL の評価. 臨牀透析 24: 825-829, 2008
25. ◎高島健太, 上月正博. 透析患者における運動療法. 理学療法ジャーナル 42: 527-530, 2008
26. ◎熊谷英子. ストーマ周囲皮膚障害のケアその 1. 消化器外科 NURSING 13: 4-7, 2008
27. ◎熊谷英子. ストーマ周囲皮膚障害のケアその 2 皮膚保護剤貼付部の巻. 消化器外科 NURSING 13: 4-8, 2008
28. ◎熊谷英子. ストーマ周囲皮膚障害のケアその 3 皮膚保護剤貼付外周部の巻. 消化器外科 NURSING 13: 65-70, 2008
29. 安藤俊典, 柴田 近, 三浦 康, 熊谷英子, 高橋真紀, 福島浩平, 佐々木巖. 褥瘡の処置. 外科 70 別冊: 1412-1417, 2008

評論、記事、対談、その他

1. 上月正博. 病院情報ファイル 2008 東北大学病院内部障害リハビリテーション科 心臓リハビリ. 週刊文春 2008年2月14日号: 109, 2008
2. 上月正博. わが国初の脳死肺移植患者との日々. 総合リハビリテーション 36: 806-809, 2008
3. 金澤雅之. 心不全患者においては、持続的中等度運動に比較して間歇的有酸素運動が心血管系に優れた効果を発揮する, 文献抄録. 総合リハビリテーション 36: 102-103, 2008
4. 植木 純, 黒澤 一, 塩谷隆信, 千住秀明. 呼吸リハビリテーションを科学する

(座談会). 呼吸 27: 661-672, 2008

5. 黒澤 一. それでも「たばこ」を吸いますか?それでも「たばこ」を吸わせますか?
—たばこと健康について—. 保健のしおり(東北大学保健管理センター) 36号:
2008